

【R01-07】

臨床医・放射線科医・病理医による集学的検討（MultiDisciplinary Diagnosis）における間質性肺炎診断の一致性の検討

1. 研究の対象

2000年4月1日から2018年12月31日までに呼吸器内科に受診され、外科的肺生検をされ間質性肺炎と診断され治療をされた方

2. 研究目的・方法

目的：非典型的な間質性肺炎の症例を集積し、一般呼吸器内科医による診断と、専門医によるMDD（集学的検討）診断をそれぞれ比較し、本邦における間質性肺炎の診断の現状を解析するとともに、診断が異なる間質性肺炎の特徴を解析することを目的とします。

方法：非典型的な症例を収集し、診断検討会で診断し結果を比較します。

研究期間：2021年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、MRC grade（呼吸困難スケール）、喫煙歴、粉塵曝露歴、併存疾患、呼吸機能（%FVC, %DLco, %RV/TLC）、血液検査所見（PaO₂, KL-6, SP-A, SP-D）、臨床経過、画像情報（胸部レントゲン画像、CT画像）、病情報（肺組織）等

4. 外部への試料・情報の提供

匿名化されている情報を、患者背景、臨床経過、検査データ、画像情報等についてはCD-Rで郵送し、コンピューターシステムに登録します。また、病理組織は施設で匿名化したのち郵送され、データ化されます。データ化後、速やかに病理組織本体は提供施設に返送、データは他のデータと同様に登録します。識別番号と患者の対応表は、各病院の研究責任者が保管・管理します。なお、研究終了後、情報は個人が特定できない形で廃棄します。

5. 研究組織（情報の提供先）

患者背景、臨床経過、検査データ：JR東京総合病院 呼吸器内科 田中 健介

画像情報：関西ろうさい病院 放射線科 上甲 剛

病理組織：日本医科大学 解析人体病理 手崎 泰弘

診断検討会出席医師の対象症例として匿名化したデータとして使用

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることや他の研究機関への提供について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ただし、診断検討会で使用したのちに拒否のお申し出があっても、研究対象とすることを中止することができないことについてはご承知ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 呼吸器内科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 研究責任者 田中 健介（呼吸器内科 医長）

研究責任者：田中 健介（J R 東京総合病院 呼吸器内科）

-----以上